



平成18年1月23日

関係各位

高千穂交易株式会社
代表取締役社長 山村秀彦
(コード番号 2676 東証第1部)
問い合わせ先
取締役常務執行役員
経営システム本部長 赤堀寛人
電話 03-3355-1111

平成18年3月期通期業績予想(連結・個別)の修正について

平成17年5月10日付当社「平成17年3月期決算短信」で発表いたしました平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の通期業績予想(連結・個別)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結通期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	24,495	1,053	585
今回予想(B)	24,400	1,300	800
増減額(B-A)	95	247	215
増減率	0.4%	23.5%	36.8%
前期(平成17年3月期)通期実績	22,318	903	467

2. 個別通期業績予想の修正(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	22,177	909	516
今回予想(B)	22,150	1,050	630
増減額(B-A)	27	141	114
増減率	0.1%	15.5%	22.1%
前期(平成17年3月期)通期実績	20,144	703	365

3. 修正理由

業績につきましては、第3四半期を経過して、予想以上にセキュリティ事業の販売が好調に推移し、受注も進展しているほか、連結子会社の利益寄与が見込まれることから、平成17年5月10日付(平成17年3月期決算短信)で公表いたしました通期の業績見通しを、上記のとおり修正いたします。

売上高につきましては、概ね計画どおりに推移していることにより、微減のほぼ当初予想の見通しとなります。

経常利益につきましては、システム機器事業の特にセキュリティ商品類の販売が好調なことによる当初予想を超える利益の積み増しがあり、子会社(株)エスキューブや高千穂コムテック(株)の計画以上の利益貢献とともに、販管費の圧縮や為替差益の計上もあり、当初予想を上回る見通しであります。

当期純利益につきましては、グループ事業の見直しに係わる特別損失が発生していますが、それを上回る投資有価証券売却益の特別利益計上があり、当初予想を大きく上回る見通しであります。

以 上